

平成 30 年 6 月 吉日

社会医療法人博愛会 相良病院 理事長 相良吉昭

乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 MRI によるものの  
保険適用後、九州で初めて施行

当法人は 2018 年 6 月、乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 MRI によるもの（以下、MRI ガイド下生検）の保険適用後、九州で初めて施行しました。

乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術とは、画像で検出された病変を画像で見ながら採取し、診断するための検査です。これまでは、乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術としてマンモグラフィー又は超音波装置によるものが保険適用されていましたが、2018 年 4 月の診療報酬改定により MRI によるものも適用となりました。

乳房の画像診断撮影装置にはマンモグラフィー、超音波、MRI がありますが、それぞれ原理と検出感度が異なります。MRI ガイド下生検は、マンモグラフィー又は超音波検査では検出できず、MRI 撮影によってのみ検出できる病変が認められる患者に対して、当該病変が含まれる乳腺組織を摘出する目的で実施した場合に適用されます。

ー 当法人における MRI ガイド下生検

現在、MRI ガイド下生検は全国でも 20 施設 (<http://big-reads.com/facilities.html>) ほどに限られているのが現状です。保険適用となったことで実施する施設が増えることが予想される一方、携わる医療従事者のスキルも求められます。当法人での MRI ガイド下生検は、2007 年に日本で初めて施行し、約 400 例の MRI ガイド下生検の経験をもつ戸崎光宏医師、

佐々木道郎医師が施行します。また当法人のMRIは、シーメンスヘルスケア株式会社とのパートナーシップ契約により高精度な画像と操作性に優れたMRIガイド下生検対応のコイルを使用しています。このため、通常は困難となる様々な角度からの穿刺を正確かつスムーズに実施することができ、病変部が存在する位置に適した方法に合わせた組織採取が可能となりました。

#### ー 遺伝性乳がん卵巣がんにおけるMRI検査

先日、国内初の遺伝性乳がんの治療薬が承認される見通しであることが報道されました。検診においては、MRI撮影によってのみ検出できる早期乳がんがあることから、欧米では遺伝的に乳がんにかかりやすいハイリスク層の検診にMRIが有用である事が知られています。MRI検診はそもそもMRIだけで発見されるような早期の乳癌を検出する目的で行われるため、MRI検診を行うにはMRIガイド下生検が施行できる環境が必須です。当法人は、2008年九州で初めて、乳がん卵巣がん遺伝相談外来を開設後、2013年遺伝性乳がん卵巣がんリスク軽減予防切除術を実施するなど、ハイリスク層への環境を整備して参りました。今後、MRIガイド下生検とあわせてMRIによるハイリスク検診を実施することで、精度の高い個別化診断を提供していきたいと考えております。

患者さん向け お問い合わせ・ご予約

放射線診断センター TEL 099-239-1489

取材に関するお問い合わせ

社会医療法人博愛会 事業本部 担当：上山

Mail [info@sagara.or.jp](mailto:info@sagara.or.jp) TEL 099-224-1811